

1. 学校教育目標

生徒一人一人の個性の伸長を図り、徳・知・体の調和のとれた、感謝の心をもつ自立した生徒の育成

2. 学校経営方針

「カテイ」を大切にす

- ・課程…教育課程を大切にし、教師一人一人がプロ意識を持つ
- ・過程…様々な取組の過程を生徒指導等に生かすとともに、心の豊かな生徒の育成
- ・仮定…”もし”を想定することできる生徒・教員の危機意識の向上
- ・家庭…保護者、地域との信頼関係づくり
教員一人一人のワークライフバランス意識の向上

3. 本年度の重点目標

- (1) 心の教育の推進
- (2) 学力・体力の向上
- (3) 信頼される学校づくり
- (4) 業務改善

4. 目標達成のための方策

(1)心の教育の推進

- ①教員一人一人の道徳授業力のアップ(校内研修・公開授業の充実等)【課】
重点項目: 感謝 自立
- ②生徒指導の推進 (凡事徹底 “ハウレンソウ”)【過】【仮】
- ③国際理解教育(SDGs 推進校・帰国外国人児童生徒教育センター校)【過】
- ④学級活動・生徒会活動の充実(帰りの会等の充実)【過】
- ⑤教科等横断的な取組の充実(人権教育・進路指導・情報教育・防災教育等)
【課】【過】【仮】【家】

(2)学力・体力の向上

- ①教員一人一人の授業力のアップ(校内研修・公開授業の充実等)【課】
- ②学力向上委員会を機能させた取組の推進【課】【家】
(授業規律の徹底・基礎学力の定着・家庭学習推進等)
- ③生徒一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実【課】【家】

- ④スクールプランによる PDCA サイクルの充実 【課】【過】
(学力調査・体力テスト等から課題を分析し、全職員が共通理解し、学校全体で
取り組みを進める)
- (3)信頼される学校づくり
 - ①積極的な情報発信(各種通信の発行・「いっせいくん」の活用等) 【過】【家】
 - ②家庭・地域・関係機関との連携の強化(積極的な参加) 【家】
- (4)業務改善
 - ①働き方改革の推進(勤務時間減の対策 仕事量の均衡化 会議削減等) 【過】【家】
 - ②チーム菊陵の意識向上(支え合う 気配り 年休等が取りやすい環境等) 【家】
 - ③業務改善委員会の運営 【家】